

# その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.133

## a taste of Ya'ssy

### 田中 康夫



たなかやすお●56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。『文藝』（河出書房新社）2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



クラブならぬデイスコ巡礼の最初の洗礼は予備校時代の昭和50年11月1975年、歌舞伎町のカンタベリーハウスギリシャ館でした。池口麗子女士率いる日新物産がアサヒビール、ニッカウヰスキーと合併で、都内に十数店舗を展開したカンタベリーハウスの一軒。因みに女士は三宮、伊勢佐木町を経て銀座でデイスコならぬクラブを経営の際、従前は空瓶を戻しても戻さなくても同額だった麦酒を始めとする酒類の仕入価格を一円単位で見直した伝説の人物。

## 「桜」を巡る攻防戦に欠かせぬ差し入れ。三十年近く前の苦甘い思い出

### 今週の逸品



### 桜餅 1個200円(税込み)

創業は大岡越前守忠相の江戸町奉行就任と同じ1717年。長命寺の門番だった人物が隅田川沿いの桜の葉を塩漬けにし、餡を包んで薄皮餅に桜の葉を巻いて売り出したのが桜餅の発祥。19世紀初頭の文書に拠れば年間38万個も販売。現在は6個入り1350円。竹籠入りも。花見の時期以外は店内でも賞味可能。スワヒリ語よりも語彙数の多いマリ共和国のドゴン族は収穫するとダンスするが同じ単語。共に生きる喜びの証なのね。

【長命寺 桜もち 山本や】墨田区向島5-1-14 ☎03-3622-3266 ☎8:30~18:00 月曜定休 要予約 <http://www.sakura-mochi.com/>

illustration by Hajime Anzai

'78年夏に日本公開のジョン・トラボルタ主演「サタデー・ナイト・フィーバー」でデイスコ・ブームが到来し、地下2階・地上10階建て六本木のスクエアビルは全館デイスコ化します。その中で10店舗を運営していたのが女士の弟に当たる谷本捷三氏。パブル終焉前にシヨバブへと方針転換し、2011年に急逝するまで先駆的なシアターレストランとしての六本木金魚を陣頭指揮しました。話をデイスコに戻せば麻布十番にマハラジャが開店するのは19

84年。六本木のエリアは85年。北青山のキング&クイーンが86年。パブル崩壊後も91年、当時の日商岩井が芝浦に大箱のジュリアナ東京を開業しています。他方で池口女士の薫陶を受けた面々を主軸として、デイスコならぬクラブ、クラブならぬクラブのGOLDが海岸通り沿いの7階建て倉庫を改装して誕生したのは92年。表層的には対極に見える芝浦の両者は意外にも、酒池肉林と紙一重の破天荒な時空が連日連夜、繰り広げられた点に於いてはジャ

ズとクラシックの「通奏低音」を感じさせます。そしてデイスコ、クラブ、その何れの場所にも些か無節操にも無鉄砲にも繁く足を運んでいた僕は、観戦の時期になると決まって思い出します。営業停止を受けて意気消沈する店舗にその都度、桜餅を差し入れていたのを。切っ掛けは、85年から5年間に亘り『朝日ジャーナル』で連載していた「フアディッシュ考現学」でした。人気を博していた店舗が突如、官憲の手入れを受けます。艶麗な肢体が明け方まで踊りくねり、紫煙・白煙・黒煙・香煙も燦ると評価した僕の原稿を読んだ警視庁詰他社の新聞記者が「マツチポンプ」したのです。田中康夫如きに書かれ放題では桜田門の沽券に関わる、とお紹介にも。時間外営業の廉で処分を喰らいます。申し訳ない、と差し入れたのが「長命寺 桜もち 山本や」の桜餅でした。爾来、「桜」を巡る攻防戦には欠かせぬ僕からの差し入れとなりました。「レッツダンス法律家の会」や坂本龍一氏の活動が爽り、ダンス教室を「風俗営業」と見做し、午前零時以降のクラブやデイスコの営業を禁止する前近代的な「風営法」の改正案を国会提出する気運が具体化しています。とまれ三十年近く前の苦甘い思い出と共に、今年も向島で買いた求めた桜餅です。